

夜の活動

名称	きもだめし	雨天	△
活動の概要	暗闇に対する潜在的な恐怖感を利用した活動です。物事に対する注意力、判断力やチームワーク、責任感を養います。	季節	通年
		対象	小学生～
		人数	200人程度
持ち物・費用	電灯提灯(100円/個)、方向灯(200円/個) 長袖、長ズボン、懐中電灯、防虫スプレー、脅かし用道具 (ホイッスル、無線機、防寒着)	時間	1～2時間
		職員の対応	事前指導

【特長】

- ・闇に対する潜在的な恐怖感を利用した活動です。
- ・物事に対する注意力、判断力やチームワーク、責任感を養うことができます。

【場所(コース)】 ※コースの詳細は別紙資料を参照してください。

りすコース	ファミリー広場周辺を通るコースです。途中で急な坂道などがあり雰囲気は最高です。
ロングコース	場外に出るコースです。時間、指導者の数に余裕がある場合に最適です。
やまどりコース	運動広場を一周する、平坦な道のコースです。
ふくろうコース	運動広場周辺を通るコースです。アップダウンがあります。
その他(場内)	その他場内でコースを設定することができます。

【計画上の留意点】

- ・活動開始前(明るい時間帯)にコース下見を行い、危険箇所などのチェックをしてください。
- ・活動中の事故、迷子などの対策を十分に立てておいてください。
- ・危険箇所などにポイント係が必要となります。ポイント係の数は別紙資料を参照してください。(ポイント係の数が足りない場合、職員に相談してください)
- ・他団体がいる場合、活動場所(スタート、ゴールなど)を考慮してください。
- ・前後の班が団子状態になることがあります。スタート時間やコース設定に注意してください。(スタートの間隔は班数にもよりますが、3～5分程度が最適と思われます)

【指導上の留意点】

- ・雷雨時は即時中止してください(コース内の参加者はその場にとどまり、指示を待つ)。
- ・途中で電灯提灯が切れた場合や、ケガが発生した場合の対処法を説明しておいてください。
- ・班がバラバラにならないように指導してください。

【活動の手順例】

①集合	班ごとに整列、健康状態などのチェック
②ポイント配置	ポイント係は必要なものを持って、それぞれのポイントへ移動
③ゲームの説明	各ポイントを通過後は、ポイント係の指示に従う
④諸注意	班行動、危険予知、万一の時の対応など
⑤スタート	各班に電灯提灯を渡し、所定の間隔をあけてスタート (スタート時に「こわい話」をしてもよいでしょう)
⑥ゴール	人員を確認し、電灯提灯を回収、返却

【その他】

- ・雨天時の場合、「山の資料館」「自然の家」などを使って行うことができます。
※詳しくは職員にお尋ねください。

りすコース

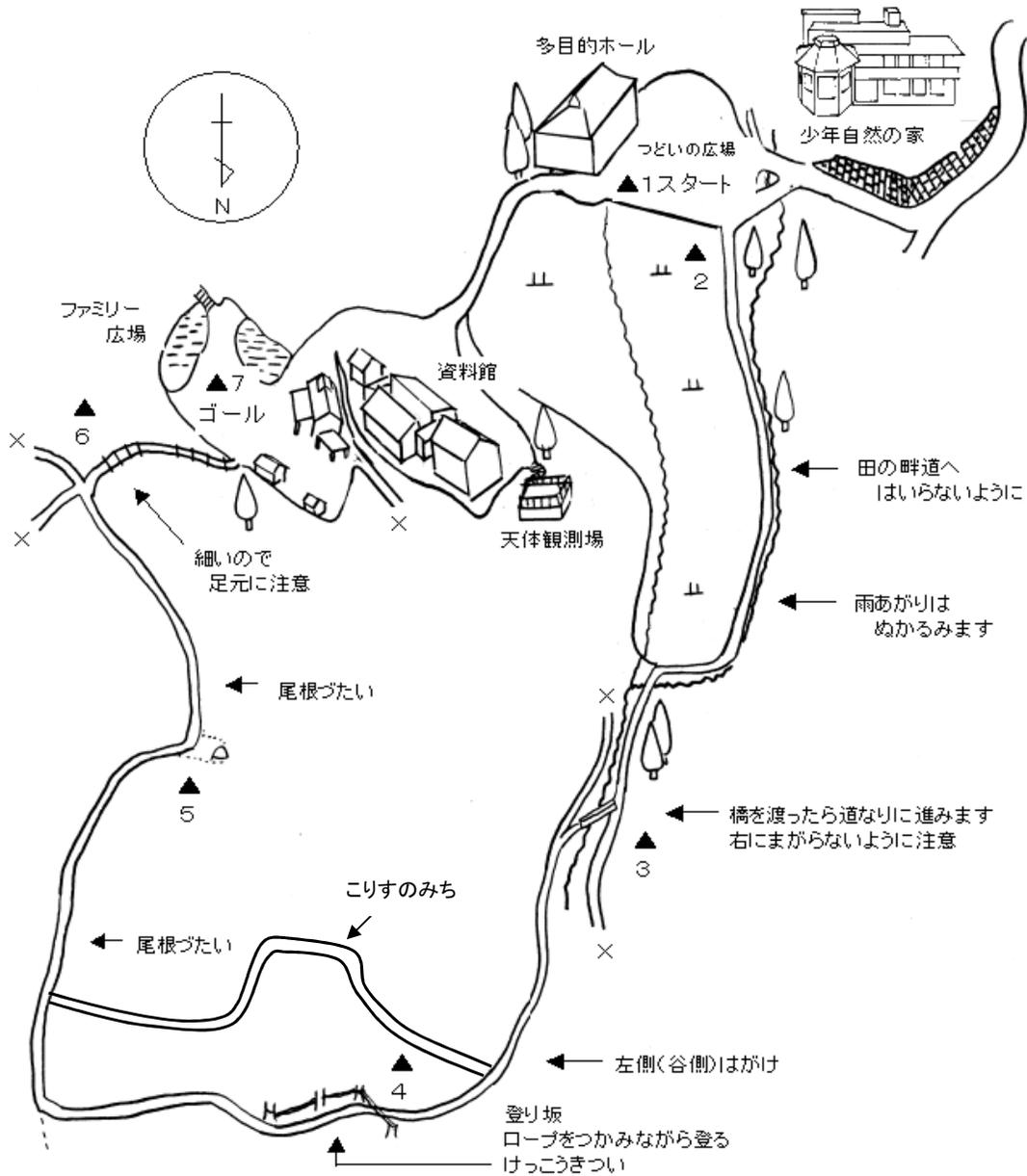
所要時間 約20~30分

【コース設定例】

- | | | |
|----------------|---|---------|
| ○ つどいの広場 | ⇒ | つどいの広場 |
| ○ つどいの広場 | ⇒ | ファミリー広場 |
| ○ ファミリー広場(資料館) | ⇒ | ファミリー広場 |

【ポイント係の数】 7人

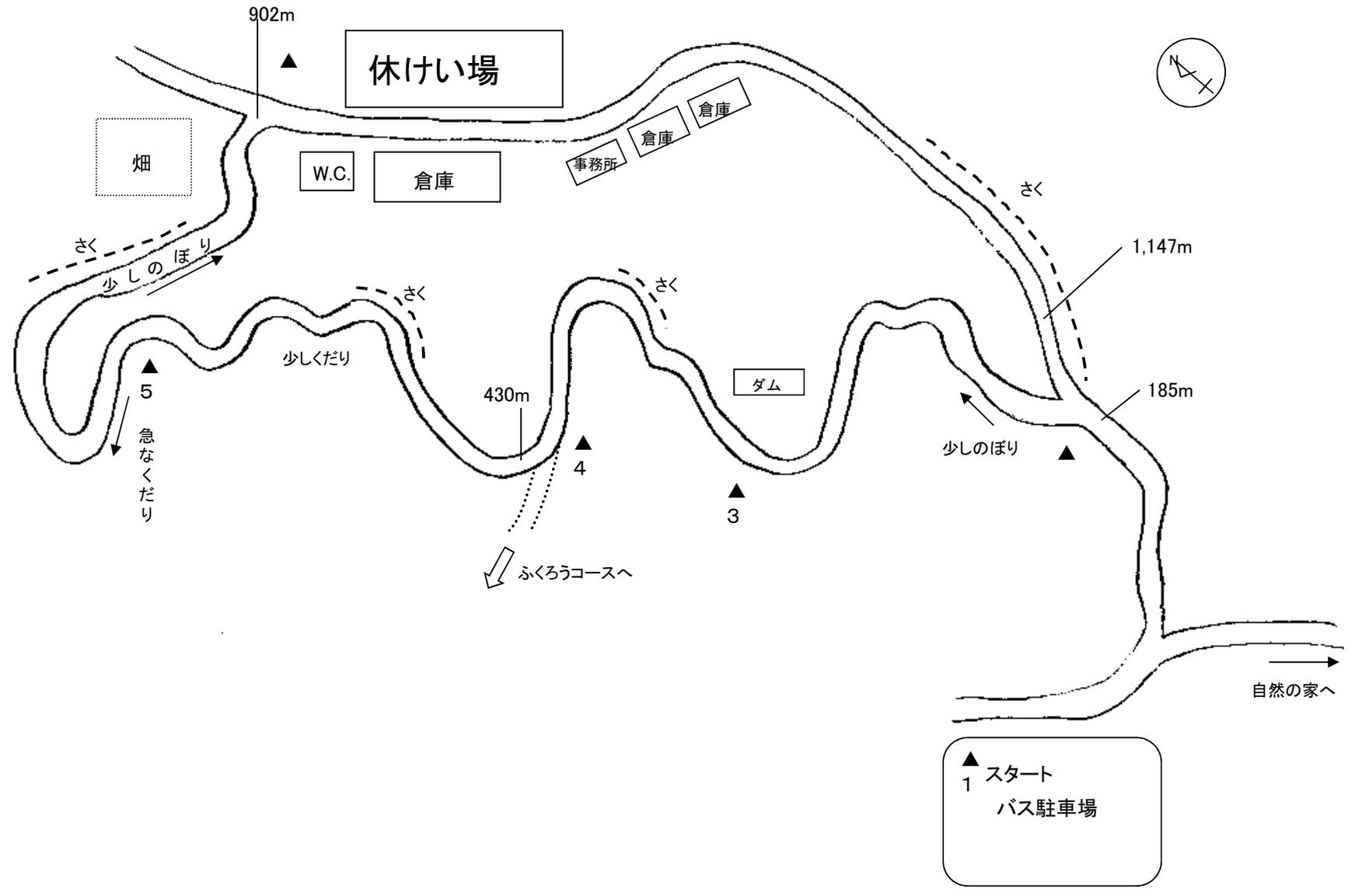
つどいの広場~ファミリー広場の設定の場合
(スタート、ゴールを含め)



やまどりコース

所要時間 20~30分

【ポイント係の数】6人~



ふくろうコース

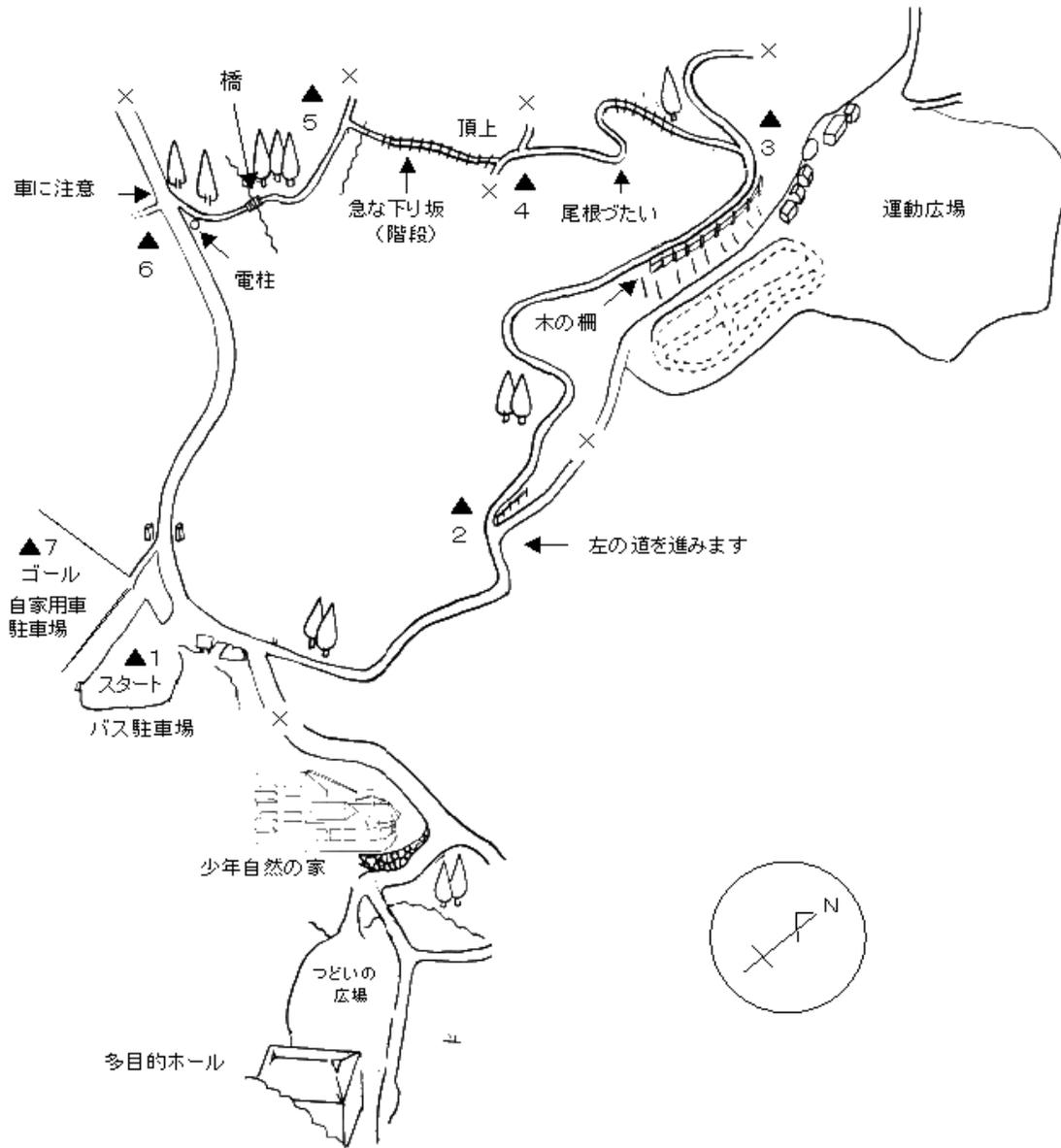
所要時間 20~30分

【コース設定例】

- | | | |
|----------|---|---------|
| ○ バス駐車場 | ⇒ | 自家用車駐車場 |
| ○ 運動広場 | ⇒ | バス駐車場 |
| ○ であいの広場 | ⇒ | 運動広場 |

【ポイント係の数】 7人

バス駐車場~自家用車駐車場の設定の場合
(スタート、ゴールを含め)



ロングコース

所要時間 45分～1時間

【コース設定例】

- | | | |
|----------|---|--------|
| ○ 駐車場 | ⇒ | つどいの広場 |
| ○ 運動広場 | ⇒ | つどいの広場 |
| ○ 少年自然の家 | ⇒ | つどいの広場 |

【ポイント係の数】 12人

駐車場～つどいの広場設定の場合
(スタート、ゴールを含め)

